

ゼミナール決定参考資料

教員名: 小林 悠太 指導教科: 行政学、政策システム論

① 研究・関心領域内容

- ・元々の研究関心は、行政組織や政策調整です。最初は内閣府の研究から出発しました。
- ・最近では、共同研究に時間を割いています。DX、財政、公務員人事など色々手掛けています。
- ・目下大切なお仕事は、共著の行政学教科書を執筆することです。

② 自己紹介<こんな学生を募集しています>

福山市出身です。西日本で色々過ごした後、助教時代(東広島)を経て2年間神奈川で働き、2024年に(再)着任しました。学部生時代の自分を振り返ると、その頃の勉強で一番楽しかったのはゼミでの討論(と終わった後の友人たちとの食事)だったなあと記憶しているので、議論が好きな学生さんだと嬉しいです。

③ 現在の人数: 三年生 0人 四年生 0人

④ ゼミのテーマ、方針、学習・研究内容

具体的には受講生と話し合っただけの予定ですが、概ね二つの方向を考えています。一つは、少子化で労働供給量の減少が予測される中での、公共サービスの変容を考える路線です(例えば、古屋星斗ほか、2024、『働き手不足1100万人』の衝撃』プレジデント社、など)。

もう一つは、特定の政策分野の論争を皮切りに、公共政策について考える路線です(例えば、松田憲忠ほか編、2019、『対立軸でみる公共政策入門』法律文化社、など)。とはいえ、4月までに別途新著が刊行されれば、そちらを輪読候補にする可能性もあります。

⑤ 授業形態(発表、討論、講義など)

「演習1」と「演習2」は、課題文献の輪読と討論を中心に行う予定です。来年度どう進行するかは、またゼミ生の雰囲気や興味を踏まえて決定します。場合によっては、グループ研究などを取り入れるかもしれません。

⑩ 最後にゼミのPRをお願いいたします!

行政学や公共政策論は、政治学の中でも法学のように実務に近い分野です。本や論文を読むだけでなく、広くニュースや社会問題に関心を持つことで、知識や方法を身につけていきましょう。

⑥ 現在のゼミの様子、雰囲気

2024年4月に着任したばかりなので、もし志望者がおられる場合は1期生になります。

⑦ ゼミ生に希望すること

ゼミは誰かが話さないと始まらないので、積極的に発言してくれると嬉しいです。

⑧ 成績評価の方法

差し当たり「演習1」「演習2」は、報告レジュメと討論への参加状況によって評価する予定です。

⑨ ゼミ生選考方法

面接は実施しません。希望者数が多い場合は、成績を考慮します。